

甘い誘い文句に注意してください！！

薬物乱用のきっかけは、好奇心や不安、友達から誘われたなどの気持ちの面があげられます。しかし、軽い気持ちで手を出すと、気づいた時には薬物から抜け出せなくなってしまいます。

＜誘い方の例＞

やせられるよ！
嫌なことを忘れられる！

こんな言葉にだまされなくてください。**全てウソです。**

とりあえず預かってよ！

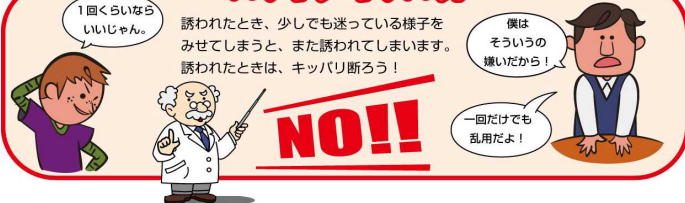
違法薬物が含まれていれば、**所持しているだけで犯罪です。**

怖いのか、勇気がないな！

断ることが一番の勇気です。

薬物乱用の誘惑には、“**キッパリ断る勇気**”と“**強い態度**”で臨みましょう！

ハッキリ・キッパリ



その場から離れる



大切な自分を守ろう！

【SNSでの薬物の誘いにも注意！】

近年、SNS上では大麻を意味する隠語などが使われ、大麻などの購入を促す内容が多く投稿されています。実際に未成年の学生がSNSを通して売人から大麻を購入した事件が報告されています。そのような投稿を見つけても誘いには乗らないようにしましょう。

ひとりで悩まず、まずは相談を！

薬物の使用などのトラブルに巻き込まれたら、ひとりで悩まずに相談してください。匿名での相談にも応じています。秘密は厳守します。安心して相談してください。

機関名	連絡先	相談内容等
こころの健康センター	027-263-1156 【メールフォーム】 kokoro@pref.gunma.lg.jp	専門の相談員が相談に応じます。また、薬物問題を抱えた家族を支援する家族教室も開催しています。
薬務課	027-226-2665	薬物に関する様々な相談に応じます。
前橋市保健所	027-220-5782	薬物に関する一般的な相談に応じます。
高崎市保健所	027-381-6111	
県保健福祉事務所	渋川	0279-22-4166
	伊勢崎	0270-25-5066
	安中	027-381-0345
	藤岡	0274-22-1420
	富岡	0274-62-1541
	吾妻	0279-75-3303
	利根沼田	0278-23-2185
	太田	0276-31-8243
	桐生	0277-53-4131
	館林	0276-72-3230
あやしいヤクブツ連絡ネット	03-5542-1865 (コールセンター)	個人輸入、指定薬物等を含む危険ドラッグに関連する事例や健康被害に関する情報の収集、提供や相談を行っています。 【URL】 https://www.yakubutsu.mhlw.go.jp/

群馬県健康福祉部薬務課
〒371-8570 前橋市大手町1-1-1

薬物乱用は絶対しない！

薬物乱用はあなたの人生に悪影響をもたらします。
薬物乱用を正しく理解しましょう。

薬物相談窓口、危険ドラッグ通報窓口
027-226-2665
(群馬県庁薬務課)

群馬県
群馬県薬物乱用対策推進本部

Q. 薬物乱用とは？

薬物乱用とは、決められたルールを守らないで薬物を使用することです。決められたルールには、法律以外に目的・用法・用量があります。そのため、違法薬物を使用することに限らず、医薬品であってもこのルールを守らなければ薬物乱用であり、過量服薬（オーバードーズ）はその例です。

<乱用される代表的な違法薬物>

大麻

幻覚作用や記憶障害、学習能力の低下などをもたらします。

覚醒剤

神経に作用して異常な興奮状態をもたらし、精神依存も強いので非常に危険です。

危険ドラッグ

麻薬などに類似した有害で危険な物質を含んでおり、呼吸困難や異常行動を起こしたり、死に至ることもあります。

MDMA

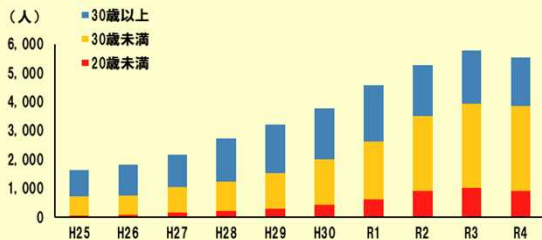
知覚を変化させ幻覚が現れることがあります。大量摂取で死に至ることもあります。

コカイン

神経を興奮させる作用があり、幻覚などの症状や大量摂取で死に至ることもあります。

【大麻乱用の現状】

大麻事犯者は急激に増加し、現在「大麻乱用期」と言える状況です。令和4年の大麻事犯者は5,546人であり、このうち、若者（30歳未満）が7割を占め、若者の間で大麻の乱用が蔓延しています。



海外でお土産として売られているチョコレートやクッキーなどの中に大麻が含まれていることがありますので、十分注意してください。



大麻チョコレート



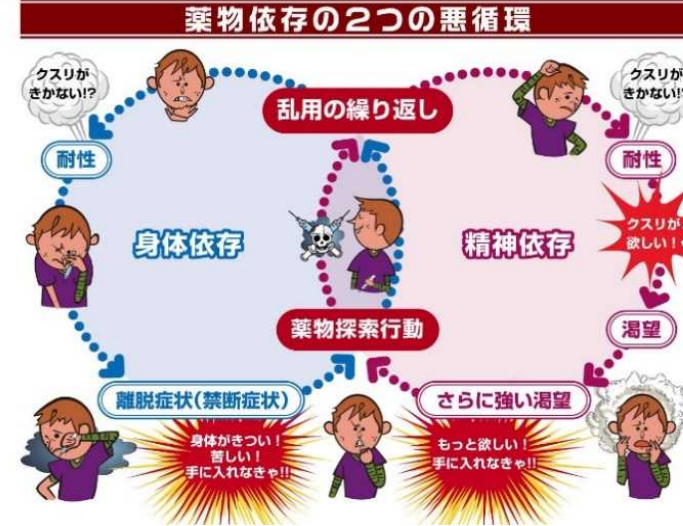
大麻クッキー

出典：厚生労働省の資料

Q. 薬物依存とは？

1回だけと思って始めた人も、薬物の依存性と耐性によって使用量や回数が増え、悪循環に陥ります。軽い気持ちで手を出すと、**自分の意思だけでは止められなくなります。**

また、薬物をやめて通常の社会生活をするためには、生涯にわたって適切な指導や周囲のサポートが必要になります。



身体依存

薬物を繰り返し使用すると、いつの間にか、体の中に薬物がいつもあるものだという身体に変化し、薬物が使用できなくなると、汗が出る・手の震え・幻覚や意識障害などの離脱症状が現れます。

精神依存

薬物を使わないと、物足りない・薬物なしではいられなくなるといった、薬物が欲しいという強い欲求である渴望が現れます。

耐性

薬物を繰り返し使用することによって、次第に薬物の効果が薄れてきてしまい、同じ効果を得るために使用量が増えていきます。

フラッシュバック

乱用をやめ、普通の生活に戻ったとしても、ささいなストレスや飲酒などによって突然、幻覚・妄想などが再燃することがあります。これをフラッシュバック（再燃）現象といいます。

Q. 薬物乱用による影響は？

一度ダメージを与えられた脳は、薬物を使用する前の状態には戻らなくなってしまいます。ダメージを与えられた脳は、正常な判断ができなくなり、運動機能が麻痺したり、幻覚・妄想に襲われるなどして、心身喪失の状態になり、事故や事件を引き起こしてしまいます。

また、薬物乱用を続けるためにお金が必要になり、さらに犯罪に手を染めるケースもあります。

薬物乱用は自分だけの問題ではありません。

乱用者の変化

- 薬物が欲しい気持ちが抑えられなくなる。
- 感情のコントロールが難しくなる。
- 生活習慣が変わる。

身近な人への影響

- 家族間での言い争いや家庭内暴力により、家庭が崩壊した。
- 金銭のトラブルが増え、信頼もできなくなり、友達が離れていった。

社会への影響

- 覚醒剤を使用しつづけて混乱し、妄想がもとになって人を傷つけてしまった。
- 危険ドラッグを使用したあとに運転し、次々に人をはねる事故を起こした。

薬物乱用は、乱用者だけでなく、その家族も共に重い苦悩を背負うことになり、薬物乱用を個人の自由だと思うことは大きな誤りです。

【医薬品の注意点】

• 過量服薬（オーバードーズ）

医師から処方された薬や市販薬を用法・用量を守らずに過量に摂取することは、健康被害を引き起こしたり、やめられなくなったりするおそれがあります。

• 医薬品の個人輸入

海外サイトで販売している医薬品は、偽造品や思わぬ健康被害が生じる場合があります。安易に医薬品を個人輸入することは、やめましょう。

• 医薬品の譲り渡し

医師から処方された医薬品は症状や体質・年齢などを考慮して処方されているため、症状が似ていたとしても、他人が使ってはいけません。安易に他の人にあげないでください。